

2025年度生涯学習センター事業について（9月時点）

2023年度から「生涯学習センターあり方見直し方針」及び「生涯学習センター運営見直し実行計画」に基づき、事業・施設運営の見直しを進めています。現在、2025年度の予算編成に向けて調整を行っている時期ですが、現時点での生涯学習センターの2024年度事業について報告します。

1. 2024年度の主な取組

（1）設備の老朽化に伴う施設改修工事の実施（実行計画外）

2002年のまちだ中央公民館移転以来、この建物で20年以上開館してきましたが、空調などの設備の老朽化が著しく、十分に学習活動の場と機会を提供することが難しくなったことから、2024年10月から2025年12月まで休館し、施設設備の改修を行います。期間中、生涯学習センター事務所は、境川クリーンセンター旧管理棟2階に仮移転します。施設貸出は中止しますが、アウトリーチによる講座事業を実施します。

（2）「学びのきっかけづくり講座」の実施（実行計画取組1-1「学びの入口の充実」）

2023年度に実施した「生涯学習ニーズ」に関するアンケート調査結果を踏まえて、多くの市民にとって関心が高いテーマを取り上げる「学びのきっかけづくり講座」を新設しました。上半期は時事問題をテーマにした「2024年、世界はどう変わる～2つの大統領選挙から～」(全3回の連続講座)を実施し、下半期はワークライフバランスをテーマにした講座等の実施を予定しています。

（3）高齢者向け「なんでもスマホ相談室」の実施（実行計画取組2-1「学びのセーフティネットの充実」）

2021年度途中から実施している「なんでもスマホ相談室」について、基本的操作に係る相談ニーズが特に高齢者に大きいことから、下半期は市内の高齢者福祉センターを会場にして高齢者向け「なんでもスマホ相談室」の実施を予定しています(6施設16回)。

（4）一部主催講座を対象としたオンデマンド配信の試行（実行計画取組2-2「生涯学習情報のデジタル化の推進」）

市民がいつでもどこでも学べるよう、生涯学習センター主催講座の一部について、オンデマンド配信の試行を開始しました。上半期は、まちだ市民大学HATSの人間科学講座と、健康学講座の公開講座を対象に2回オンデマンド配信を行いました。下半期もまちだ市民大学HATSの公開講座等を対象に、2回程度、オンデマンド配信の試行を予定

しています。

(5) 相模原・町田地域教育連携プラットフォームの活動開始（取組 4-1「学びのネットワークづくりの促進」）

2023 年度に発足した、町田市と相模原市に所在する大学等 8 校、町田市、相模原市、町田商工会議所、相模原商工会議所が参加するプラットフォーム組織が活動を開始しました。2023 年 10 月～2024 年 9 月までの間、①公開講座 10 講座の実施②大学・商工会議所・市の連携による就業支援セミナーの実施③大学職員向け研修の実施などを行い、現在、災害対策のための連携体制の構築に向け、調整を進めています。

(6) 視聴覚室夜間開放、保育室開放の継続（実行計画取組 5-3「学びの場の整備」）

2023 年度下半期から新たに始めた視聴覚室の学習スペースとしての夜間開放、土日祝日日中の保育室の交流・休憩スペースとしての開放を施設開館中は継続します。（保育室は空調の故障により、5 月から開放中止中。）

2. 2025 年度予定（全般的事項）

(1) 施設の大規模改修工事

◆2025 年 12 月まで実施。再開館は 2026 年 1 月 4 日予定。

(2) 講座事業のアウトリーチ実施

◆休館期間中、生涯学習センター主催事業は全てアウトリーチで行います。利用できる会場の制限や、通常の講座に比べて実施のためのコストが上昇するため、講座総数は全体的に減少します。主な講座の実施予定数は下記の通りです。

▶市民大学事業 12 講座 50 回～55 回程度（2024 年度：11 講座 55 回）

▶障がい者青年学級 3 学級 40 回程度（2024 年度：3 学級 40 回）

▶家庭教育支援事業 10 講座 50 回程度（2024 年度：10 講座 48 回）

(3) 講座事業のオンライン実施

◆休館期間中、アウトリーチと並行して、まちだ市民大学 HATS の公開講座等を対象に、オンライン配信を 5 回程度実施する予定です。

(4) 学校開放事業の縮小

◆2022 年度に新規開始した町田第一中学校開放について、東京都のサンセット補助制度が期限を迎え適用外となるにあたり、一般財源で対処することができないため、事業成果を踏まえ見直しを行います。